



松本祐二
(まつもとゆうじ)

打楽器

1990年から1993年にかけてベルリン、ブルガリア、マレーシア、シンガポールなどの打楽器アンサンブルツアーに参加し、1994年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団。1996年洗足学園音楽大学講師に就任。現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団団員、洗足学園音楽大学講師、洗足学園音楽大学音楽感受研究室室長、パステル音楽院ドラム科講師として活動。



伊藤友里加
(いとうゆりか)

フルート

洗足学園音楽大学卒業。洗足学園音楽大学大学院音楽研究科修士課程修了。第13回日本フルートコンヴェンションコンクール・ピッコロ部門入選。現在、関東地区の学校や音楽教室でフルートの講師を務めているほか、様々な分野での演奏活動を行う。洗足学園中学校・高等学校非常勤講師助手。アンサンブル・ブルーメンシュトラウス、フルートアンサンブル・ripple markメンバー。



安里圭一郎
(あさとけいいちろう)

打楽器

Steelpan Orchestra PANNOTEMAGIC 所属。2006年 JAPAN Facilitator's Playshop 修了。

2011年、トリニダード&トバゴで開催された International PANORAMA Competition に SilverStars のメンバーとして出場し、第3位受賞。

小林淳一（こばやしじゅんいち）

1988年長野県出身、東京都在住。先天性感音性難聴。聴力レベル100db[デシベル](参考:健常者レベル0-20db)以上のため、1歳より日常、演奏時には両耳に補聴器を装着している。補聴器無しでは全く聞こえない。5歳よりピアノを始める。中学時代、合唱祭のクラス合唱で二年連続、伴奏者を務める。07年12月、ニューヨークのカーネギーホール、国連本部で開催されたピアノパラリンピックデモンストレーションコンサートのメンバーに選抜される。

これまでに、ピアノパラリンピック関連の大会で多数の芸術賞、金賞を二度受賞。長野のピアノフェスティバルで聴衆賞準グランプリを受賞。北海道、神戸、岡山、熊本など全国各地で幅広い演奏活動を行っている。海外では、ニューヨーク、カナダ、タイ、台湾での海外演奏を経験している。また、海外NHKワールド「From the Heart」、全国NHKドキュメンタリー「障害を乗り越え、世界の舞台へ」が放送される。空気中の音を感じ、肌や心で空気振動としての音、空間に漂う響きを体で感じ取っている。自分なりの“音”の新たな表現方法、鍵盤のタッチやペダルによる音色変化など、様々な工夫を研鑽している。2013年11月、ウィーンで開催された第3回国際障害者ピアノフェスティバルに出場し、聴覚・言語障害部門で金賞を受賞。

